

日弁連第61回人権擁護大会プレシンポジウム

特殊詐欺対策

街ぐるみで被害防止を!

2018年

日時

7月6日(金) 13:30~15:50

入場無料

定員300名

申込不要

場所

和歌山県民文化会館 小ホール

テーマ

- 和歌山県下における特殊詐欺等の被害実態
- 特殊詐欺の被害回復の状況とその課題
- 行政や各種業界団体による街ぐるみでの被害防止策
- 特殊詐欺等に対する取締まりの状況とその課題

【趣旨】

社会問題として注目される「特殊詐欺」は、深刻な被害を生み出し続けています。平成29年度の全国における「特殊詐欺」の認知件数は約18,000件、被害額は約390.3億円に上りました。「特殊詐欺」の手口は、常に進化し、巧妙化しており、自分は大丈夫と思っていた方も被害に遭っています。そして、一度被害に遭ってしまうと、被害回復は非常に困難なのです。

和歌山県下においても、「特殊詐欺」の認知件数は95件、被害額は約2億1500万円に上り、その手口もオレオレ詐欺をはじめ、架空請求詐欺、還付金等詐欺など巧妙かつ様々で、泣き寝入りする被害者を少しでも減少させなければなりません。

本シンポジウムでは、重大な人権侵害であると言っても過言ではない「特殊詐欺」について、和歌山弁護士会が行政・各種団体とともに、その実態・手口を明らかにしつつ、特殊詐欺被害に遭わないための対策を紹介します。

主催：和歌山弁護士会

共催：日本弁護士連合会、近畿弁護士会連合会

後援：和歌山県警察、和歌山県、公益財団法人和歌山県暴力追放県民センター